

## 第250回 ランチオンセミナーのこれまでと今後の展望

ランチオンセミナー第250回を記念し、これまでを振り返り、今後の展望を語る。みなさんからのフィードバックを求む！

- ランチオンセミナーのこれまで

ランチオンセミナーとは、eラーニングに関する情報提供と意見交換の場である

- [ランチオンの発表スタイル](#) / これまでの登壇者数69名 / [歴代登壇者ランキングトップ10](#) / [ランチオンにご登壇いただいたIDの巨匠たち](#) / [テーマの頻出語ランキング1位～20位](#)

- ランチオンセミナーの展望

- [これまでの良かったことと伸びしろ：継続性と多様性](#)
- 現在の課題と計画：  
[ウェブサイトのリニューアルとスライドフォーマットの改訂とコンテンツの充実](#)

## ランチオンセミナープレゼンスタイルの提案

- 1枚目にリンク付の要約を用意する。
- リンクは、2枚目以降へのリンクと外部資料へのリンクを含めることができる。
- 発表者は1枚目を5－10分程度で話す。
- 2枚目以降には補足資料を用意する。
- 2枚目以降は参加者の求めがあった場合に限り、求めに応じて表示することができる。
- 以上のプレゼンスタイルを本発表で例示する。
- アーカイブビデオは1枚目についての発表とそれ以降を分割して公開する。

出典:ランチオンセミナー第1話 鈴木克明「熊大ポリシーの目指すもの」  
<http://cvs.ield.kumamoto-u.ac.jp/wpk/wp-content/themes/gear/pdf/luncheon1.pdf>

# 歴代登壇者 ランキング ベスト10

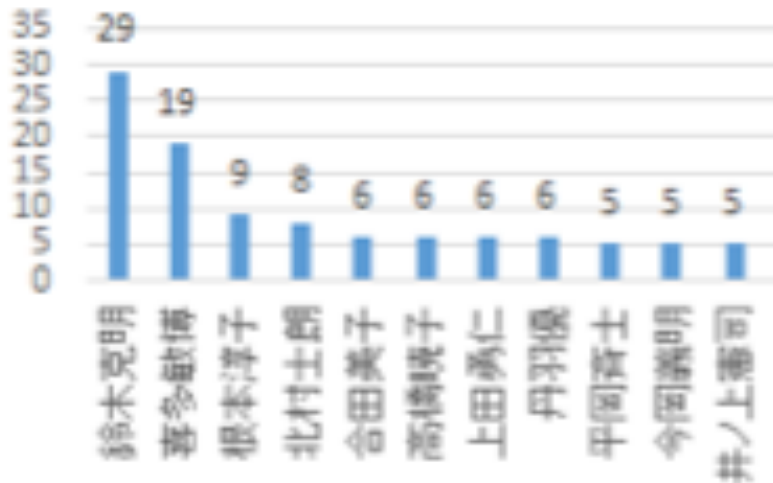


図 197.1回の時のランキング

表 250回の時のランキング

ランキング	お名前(敬称略)	回数
1位	鈴木克明	36
2位	喜多敏博	23
3位	丹羽優	11
3位	平岡齊士	11
5位	根本淳子	10
6位	北村士郎	8
7位	高橋暁子	7
7位	合田美子	7
7位	天野慧	7
10位	井ノ上憲司	6
10位	上田勇仁	6
10位	中畠康二	6

# ランチョンにご登壇いただいた IDの巨匠



第57回  
ケラー先生  
(ARCSモデルの生みの親)



第100回  
仲林先生  
(JSiSE会長)



第200回  
リーサー先生  
(IDT本編者)



第212回  
フェルナンド先生  
(ibstpi代表理事)

第57回 ARCS本の単著と翻訳本が出ました！～提唱者JohnKeller教授を迎えての質問タイム

<http://cvs.ield.kumamoto-u.ac.jp/wpk/?p=904>

第100回 ビデオとアンケートシステムを活用した情報科教職科目「情報と職業」の授業実践

<http://cvs.ield.kumamoto-u.ac.jp/wpk/?p=1291>

第200回 200回記念

<http://cvs.ield.kumamoto-u.ac.jp/wpk/?p=2603>

第212回 ibstpiって何ですか？-来日中の代表理事Fernando Senior博士を迎えて-

<http://cvs.ield.kumamoto-u.ac.jp/wpk/?p=2658>



## タイトルの頻出語

No	抽出語	出現回数	No	抽出語	出現回数
1	id	49	11	インストラクショナルデザイン	15
2	学習	42	12	開発	14
3	教育	40	12	報告	14
4	シリーズ	38	14	実践	11
4	章	38	14	授業	11
6	輪読	37	14	設計	11
7	eラーニング	26	17	デザイン	10
8	moodle	20	17	参加	10
8	大学	20	17	支援	10
10	研究	19	17	紹介	10

KHコーダーを用いて、「eラーニング」「eポートフォリオ」「moodle」「id」「sns」「インストラクショナルデザイン」「教授システム学」「mahara」「project based learning」「pbl」「自己調整学習」を強制抽出語句に設定。頻出語句150語のうち、トップ20を抽出した。

# 良かったことと伸びしろ

## • 継続は力なり

これまでの担当者の先輩のご尽力により、250回継続  
「実はメディア化戦略でもっとも大切な事は、情報発信とコミュニケーションを継続させる努力です。いったん自社メディアを立ち上げたら、そのメディアに関連する言葉を検索してくれる人達の流入を呼び込み、そこに残った人達をうまくファン化して、コミュニティを組成します」小林弘人(2011)

## • 多様性

これまでの登壇者は69人でさまざまなテーマの実践や取り組みを紹介

→さらに長く続ける、そしてみなさんの多様な意見を！

小林弘人(2011)『メディア化する企業はなぜ強いのか?』技術評論社

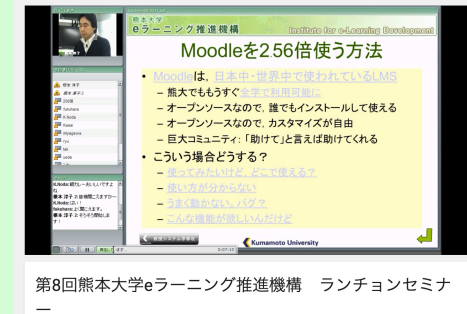
# 現在の課題と計画

- ウェブサイト&スライドのリニューアル  
直近の課題: スマホ対応とSNS連携  
デザインの改訂

→6-7年前から何も変わっていない!!!

→インタラクティブなプレゼンスタイル?

jQuery, HTML5, WebAPI時代のリッチなWebコンテンツの導入  
(第159回 中野先生の発表)



約7年前のランチオン

- コンテンツの充実

従来通りの事例発表・提言を軸に新たなコンテンツを投入?

新シリーズの立ち上げ?:

①対談シリーズ(登壇者が誰かに聴きたいことを聞ける・登壇者  
同士の新たな刺激を生み出す)

②○○をやってみた!?: 新たな技術の活用例など

参考: 第159回 中野裕司先生「jQuery, HTML5, WebAPI時代のリッチなWebコンテンツ」<http://cvs.ield.kumamoto-u.ac.jp/wpk/?p=2146>